

令和8年度 生徒指導通信

百花繚乱～みんなが、自分らしく輝く場所～

第1号

4月9日(水)発行

文責:生徒指導 谷久保 直也

新しい季節、新しい自分との出会い

進級、そしてご入学おめでとうございます。

いよいよ令和8年度の幕が開きました。皆さんの瞳には今、どんな景色が映っていますか？

期待、不安、決意……。そのすべてが、皆さんが成長しようとしている証です。

本校が掲げる教育目標、「**良い社会人になろう ～みんなが輝く学校～**」。

この言葉に込められたメッセージを、新年度のスタートにあたって改めて皆さんと共有したいと思います。

「良い社会人」の根っこにあるもの —— それは「**思いやり**」

「社会人」と聞くと、まだ先のことのように感じるかもしれません。しかし、学校という場所は、小さな「社会」そのものです。社会に出た時に最も求められる力、それは勉強の成績以上に、「他者とどう関わるか」という力です。

誰かが一人で寂しそうにしているとき、そっと声をかけられるか。

自分の意見を通すだけでなく、相手の立場に立って考えられるか。

その「思いやり」の一步こそが、あなたを「良い社会人」へと成長させます。

「**みんなが輝く**」ために、あなたが今できること

「みんなが輝く」とは、誰か一人が目立つことではありません。一人ひとりが自分の個性を大切にされ、安心して過ごせる場所があるということです。

春木中学校のみんなに大切にしてほしいこと

1「**言葉**」の重みを知る

何気ない一言が、誰かの心を温めることもあれば、鋭い刃物のように傷つけることもあります。SNS での発信も含め、「その言葉、自分に向けられたらどう感じるか？」を立ち止まって考える強さを持ってください。

2「**想像力**」を働かせる

あなたの隣にいる友だちには、あなたには見えない悩みや背景があるかもしれません。「自分とは違う」ことを否定せず、「そうなんだね」と受け入れる心の余白を大切にしましょう。

3「**小さな勇気**」を出す

いじめや嫌がらせを「見ないふり」をすることも、相手を傷つけることと同じです。誰かの痛みに気づいたとき、寄り添おうとするその「小さな勇気」が、学校を輝かせる光になります。

今月の重点目標:**心をつなぐ「あいさつ」**

思いやりを形にする第一歩は、やはり「あいさつ」です。

「おはよう」「ありがとう」「ごめんね」。

これらの言葉は、人と人との間に橋を架ける魔法の言葉です。自分から心を開き、相手に届くあいさつを交わすことから始めていきましょう。

生徒指導主担より

私たちは、皆さんが失敗することを恐れていません。失敗したときにどう立ち振る舞い、どう相手に誠実に向き合うか。そのプロセスこそが「良い社会人」への修行です。

困ったとき、悩んだときは、一人で抱え込まずにいつでも相談に来てください。

「**誰もが主役になれる、誰もが尊重される学校**」を、一緒に創っていきましょう！

保護者の皆様へ

日頃より本校の教育活動へのご理解とご協力に感謝申し上げます。

生徒指導の根幹は、学校と家庭の連携です。お子様の変化や不安な様子、あるいは頑張っている姿など、どんなに小さなことでも構いません。何かございましたら、いつでも学校までご相談ください。

教職員一同、お子様の健やかな成長を全力でサポートしてまいります。

